

みえDOYU

2011年度 テーマ

激動を良き友に、自社の新たな形を創造しよう！

～あなたの会社の強みはなんですか？～

VOL 319 2011. 6. 1

広報責任者 水谷彰宏

〒510-0066

四日市市南浜田町 2-14

水谷ビル3F

TEL 059(351)3310

FAX 059(351)9362

<http://www.mie.doyu.jp/>

E-mail mie-doyu@eos.ocn.ne.jp

自社の経営を語り合い企業変革の原動力へ

～23年度の支部活動がスタート～

一部の支部を除き5月には各支部総会が開催されました。各支部の方針は、三重同友会平成23年度の活動テーマ「激動を良き友に、自社の新たな形を創造しよう！～あなたの会社の強みは何ですか？～」を反映した支部活動方針となっています。各支部共に時代に合わせた「企業の変革」を方針に挙げており、そのためにも自社の強みの再確認・新たな強みの創造を「自社の経営を語る活動」を通じて深めていく所存です。

また、支部それぞれにおいて、昨年度から引き続き行なっている新たな取り組みをさらに発展させていく事が図られています。桑名支部・北勢支部では、引き続き課題テーマ別のグループ会活動から、より実践的な経営課題を学ぶ方針が打ち出されており、中勢支部でも今までは形骸的になっていた4つのグループ会を活性化させ、原則毎月開催していく事が方針として挙げられています。また、南勢支部でも「本音の交流」の場として年6回、経営を語る会を引き続き開催していく予定になっています。



(中勢支部総会の様子)

昨年からは始まった桑名支部・シニアクラブ、中勢支部・パイオニアクラブも普段の例会とは違う雰囲気の後継者問題や世代交代といった課題について語り合い、改めて同友会活動への参加の呼び水となる交流の場をつくり、会員交流の活性化を図ることを目的として引き続き開催していきます。また、伊賀支部でも今年度は世代を超えた会員交流を図る取り組みが企画されており、北勢支部の会員交流委員会も引き続き20代から70代までの世代の幅を活かした交流が図られています。

会員相互の交流から変革の一步を

～まずは、支部行事への参加を～



(桑名支部総会の様子)

震災以降、状況は日々刻々と変化しており、同友会の活動そのものが求められる課題に合わせて応変しています。会員相互の交流や実践を通じて、自らの経営課題を明確にして変革に取り組み、この激動の時代を良き友に、新たな企業づくりへ向けて共に取り組んでいきましょう。

支部総会・例会だより

中勢支部総会

テーマ

『社員に生きがいを与えた

日本一の知恵工場』

～ベテラン社員の、知恵を引き出す～

講師：松岡 浩氏

(株)タニサケ 取締役会長



(松岡氏)

売上げ高9億2千万円、経常利益2億5千万。利益率はなんと27%！中勢支部の支部総会では、この驚異的な利益率を誇る会社「株式会社タニサケ」の創業者・松岡浩氏(現会長)をお迎えし、ご講演いただきました。

株式会社タニサケはゴキブリだんご(商品名：ゴキブリキャップ)の製造販売を行っています。松岡会長は、高収益優良企業であることの秘訣として

(1) 1ヶ月に200件以上の改善提案

(2) ありがとうカード

(誰かの良い行いに気付いた人が、そのことを記入するカード。専用ポストに投函)

(3) 社内報「フレッシュタニサケ」の3,000部発行

などをあげてみえました。いずれも、17年以上継続とのこと、驚きです！

改善提案については、業務の効率化や品質向上が図れたことはもちろんのこと、会社が提案を取り入れることで、一人ひとりの自信につながり、笑顔がいっぱいの明るい会社になったそうです。明るい会社＝利益があがる会社というのが松岡会長のお考えです。

また、松岡会長は「人生とは習慣である」ともおっしゃいます。「薄皮を1枚1枚重ねていくように、1日1日進歩するための良い習慣を長～く続けると、何年か後に変化が現れるんや」。平凡と思われるようなことをやり続けること、これこそが成功の秘訣なんですね。

面白川柳や小噺を交えての講演はとても楽しく、あっという間に終了してしまいました。松岡会長、どうもありがとうございました。

最後に、今回の講演の内容とは異なりますが、ゴキブリキャップの商品開発～値引きをしない営業～爆発的大ヒットにいたるまでの物語もたいへん面白く勉強になります。ご興味のある方は著書「ゴキブリだんごの秘密」をご覧ください！

(株)エスト 坂井治美

南勢支部5月例会

テーマ

『今の松風軒の在り方とこれから進む道』

～なぜ“うなぎのなんげ”を

松阪にオープン！？～

報告者：南家 剛氏

松風軒 代表者



(南家氏)

今月の例会は、伊勢市二見町で70数年もの歴史をもつ松風軒3代目南家剛氏に報告をしていただきました。今は松風軒の伝統の味を受け継ぐ南家氏ですが、工業系の高専を卒業し、建設会社に就職していました。しかし、創業者である祖父の「商売はやったらやった分、見入りがある。」という言葉と長男であるという自覚が、南家氏を料理人にさせ、松風軒の3代目として力を発揮しています。

自宅で冠婚葬祭をあまり行なわなくなった今の時代、取り仕切る会館にリベートを納めなければ、仕出しする先があまりないなどの問題がでてきています。そのような中ですが、冷凍食品・既製品は使わない完全手作りの安心した弁当に賛同していただくお客様が増えたことや、二見町の旅館へ素泊まりでみえるお客様を旅館から紹介していただくという機会が増えたことは松風軒にとってよい流れとなっています。しかし、地域密着のお店である松風軒は、先代から続くお客様が多く、新

規でのお客の獲得がまだまだできていない状況です。そこで、若い層を対象としたメニューを作ることや、最近では反応が悪くなった折り込みチラシをポスティングへ変更するなどの対策を行なっています。

今年の4月にうなぎ屋をオープンした理由は、松風軒のたれに自信があり、たれで勝負したいという思いをずっと持っていたからであり、出店を松阪にした理由は、友人に条件のよい射抜き物件を紹介してもらったという経緯があったからでした。しかし、飲食店は立地が一番大切と考えている南家氏は、自ら松阪へ行き自分の足で歩き、通りより一つ中に入っているが、交通量があることや、新築が着工されている様子を見るなど、自らマーケティングを行なっています。また、そんな中でも一番力を入れたのはメニュー構成で、

“うなぎ屋 = 井”ではなく、松風軒の良さを取り入れたメニューにし、米はねばりのある地元の“御糸米”にこだわっています。4月のオープンから2ヶ月が経った今、非常に順調で、特に土日は満席が続いている状況です。最後に南家氏より、「今後、小さいながらも少しずつ新しいお店を展開していきたいと思っているが、その際法人化した方がいいのかどうか悩んでいるので皆さんのご意見をお聞かせください。」といった会場への質問の投げ掛けは、普段の例会とは少し違った雰囲気となり、報告後のバズセッションでは、「自らが松風軒の店主であれば、これからどうしていくか？」というテーマで話し合いをし、南勢支部の心の温かさを感じる例会となりました。

事務局 金澤宏樹

『復活!! 会員訪問日記』

～カエルの見学会へ行ってきました～



今回の訪問は、四日市で大型のクラフト紙袋を製造加工している、平松産業株式会社が主催する“カエルの見学会”に参加させていただきました。皆さんもご存知の通り、三重県中小企業家同友会副代表理事をしていただいている、平松氏の会社です。この“カエルの見学会”は変える（改善）とカエルをかけて名づけられ、改善活動をより多くの人に見てもらいアドバイスをいただくことや、真似して役立ててもらうことを目的に始められました。

今回で8回目となる“カエルの見学会”では、楠工場、本社工場内で計10個の改善箇所を各担当者に熱くその改善ポイントについて説明していただきました。たくさん並んだギアのサイズが一目で分かるように、サイズが記入されたマグネットを貼り付けるなど、ちょっとした工夫で業務がスムーズに行なわれるようになる改善から原紙ロールに残った

紙を、紙と紙官に分けることのできるプレス機を改造し独自に開発した『エコマッキー』と呼ばれる大掛かりな機械もありました。

実はこの改善提案は、社員さんから出てきたものなのです。1つ提案すると提案料が貰え、採用されると報奨金が出る仕組みになっているのですが、それでも最初はなかなか出てきませんでした。改善活動の担当者が積極的に提案し改善を行なっていくことで、今では、月に100件の提出数となりました。社員による一つ一つの改善が、業務をスムーズにさせ、単純な人的ミスを減らすとともに、考える集団にすることができます。

皆様、是非次回の“カエルの見学会”に参加されてはいかがでしょうか。また、改善事例をHPでも紹介されています、すぐに行けることから、中には非常にユニークな取組もありますが、『少しでも現状を変える』ということは大切な取組で、停滞が生み出すものは何もありません。一度HPを覗いて見てはいかがでしょうか。



（事務局 金澤）

アドレス <http://hiramatu-sangyou.com/>

新会員のご紹介（敬称略）

（ 2 3 . 3 . 2 3 ~ 2 3 . 5 . 1 9 ）

いき ふみたか
伊木史貴

（有）コーブンシャ
四日市市笹川3丁目48
取締役

059(320)0320
業種 介護福祉事業、オフィス用品・
業務用ソフト販売
北勢支部 紹介者：稲垣孝彦

いしもり まさき
石森正樹

日本興業（株）
桑名市大字矢田390-1
代表取締役

0594(22)3335
業種 土木工事一式、砂利採取・販売
家屋解体、産業廃棄物収集運搬業
桑名支部 紹介者：片岡徳一

まつもと しんご
松本信吾

（株）松本薬品
伊勢市御園町高向2018
代表取締役

0596(24)2100
業種 塗料・工業薬品・医療用ガスの
加工販売
中勢支部 紹介者：高尾聖一



こんの かつとし
今野克俊

（株）サノプランニング
四日市市西新地7-3
常務取締役

059(355)3300
業種 飲食店の経営、飲食店の企画運営
北勢支部 紹介者：佐野貴信

まつうら としのり
松浦利徳

（有）フジカワ 津支店
津市上浜町2-223
支店長

059(229)5245
業種 保育用品販売、営繕事業、情報事
業、マザーワークマネジメント
中勢支部 紹介者：安藤大作

会員変更のご連絡（敬称略）

ごとう わたる
後藤 渉

日商器材（株）
（旧会員：後藤 武）

いとう あつし
伊藤敦司

（株）スポーツインフォメーション
（旧会員：清水茂司）

かわきた たつみ
川北辰実

（株）カワキタエクスプレス
（旧会員：駒田隆雄）

みやばやし まさあき
宮林正晃

（有）宮林金庫店
（旧会員：宮林加代）

企業名等変更（敬称略）

いのうえ ごろう
井上五郎

井上五郎税理士事務所
桑名市大字西方620
アネシスビル3F

〈同友コラム〉

（株）六晃電気産業 水越 多加夫

今年度桑名支部支部長を拝命いたしました（株）六晃電気産業の水越多加夫と申します。

父親が創業した電気工事業を五年前より継承しておりますが、いい歳をして未だにロックが大好きでおやじバンド（ギター）もやっております。

経営者でありながらカリスマ性には程遠く難しい事もあまり得意では無いので、なるべく分かりやすい方針の元、みんなの力を最大限引き出して総力を結集し社是である「喜ばれ役立つ」の実践をいつも考えております（それしか出来ない・涙）。

学校の先輩でもある服部代表理事の県方針「激動を良き友に、自社の新たな形を創造しよう！」の元、支部方針「自社がこうなりたい、という姿を描いて行動しよう！」自社の強みが見えていますか？」を作りました。

自社が将来必ずこうなりたい、という姿を経営者は四六時中思い続け、達成するための方法を考えて具体的に実行し続ける事だと思えます。思い続ける人しか「商いの女神」は見えないと聞きます。また企業の器は経営者の器の大ききで決まると思えます。器をいかに大きくしていくか？それには正直自分が一番苦手としている「挑戦」という努力が必要であると自分に言い聞かせています。それがないと企業は衰退していくでしょう。

自社がこうなりたい、という姿を具体的に描いて行動する事を、今年の学びの方針といたします。どうか宜しくお願いいたします。

各支部例会・総会のご案内

桑名支部 6月例会

テーマ『服部代表理事発！
“強い”ハツメック創造計画！』

日時 平成23年6月7日(火)
18:45～21:00

会場 桑名中央公民館

報告者 服部一彌氏
(株)ハツメック 代表取締役
三重同友会代表理事

北勢支部 6月例会

テーマ『同友会リーダーとして学んだ事』
～自社の強みを活かして
激動を乗り切る！～

日時 平成23年6月15日(水)
19:00～21:00

会場 四日市農協会館5F
JA第1ホール

報告者 門井恵介氏
東海運輸建設(株) 代表取締役
三重同友会北勢支部長

中勢支部 6月例会

テーマ『震災後、世界経済の動向と
日本のものづくり』
～地域中小企業が生き残る道～

日時 平成23年6月22日(水)
18:45～21:00

会場 松阪フレックスホテル

講師 真田幸光氏
愛知淑徳大学ビジネス学部
教授

伊賀支部 6月例会

テーマ『未定』

(内容が決まり次第ご連絡いたします)



南勢支部総会

テーマ『遠くて近い。
ポーランド人と日本人の好感情の源泉』

日時 平成23年6月8日(水)
17:30～21:00

会場 伊勢国際ホテル

講師 エヴァ・パワシュ
=ルトコフスカ氏
ワルシャワ大学東洋学部日本学科
教授

懇親会参加費：3,000円
講演は日本語です

尾鷲・熊野グループ 6月例会

テーマ『今年度のグループ会活動について』

日時 6月7日(火)
19:00～21:00

会場 尾鷲商工会議所 2F会議室

第2回理事会まとめ

1、各種報告事項

e.doyu 管理担当者事務局臨時会議（略）
共同求人研究会合同企業説明会（略）
農林水産部会総会（略）

SW2 E E T みえ総会及び共同事業創造委員会研修会の報告について、小黒SW2 E E T みえ理事長より報告されました。合わせて小黒氏が岩手同友会へ復興支援として訪問された際の現地状況について報告されました。

2、正副代表理事会議の報告

・第29回定時総会について、感想と反省点を話し合いました。

宿泊形式での開催については、じっくりと経営について語り合いができたことや例年とは違った変化があったことなどで好評が得られました。しかしグループ長との打合せ不足や駐車場についての対応など会場側との事前打合せ不足など今後の課題として申し送りすべき点も上げられました。

・中国上海に電気電子製品・技術及び関連製品の販売展示場開設の取組みについて、高橋相談役より提案され、承認されました。今後新たなビジネス展開を図る上で、中国をいかに活用していくかという点に対しては多くの企業が関心を持つところでもあるため、将来的には電気電子以外の分野への拡大も含めて取り組むこととします。活動母体としては有志による自主活動グループを設立し、三重県との連携を図りつつ進めていくこととしました。

3、委員会の報告

1) 総務委員会

・4月度月次決算について（略）
・第29回定時総会の人数と決算報告（略）
上述の申し送り事項を今後に反映させていくこととしました。
また次回定時総会の主管支部は、北勢支部にお願いすることを申し合わせました。
・理事幹事研修会については、以下の通り

開催することが承認されました。

理事幹事研修会

日時 7月29日（金）
14:00～19:30

会場 四日市農協会館

・第19回経営研究集会については実行委員会形式で進めることとし、実行委員長については主管支部の中勢支部より選任いただくこととしました。また予算についても承認されました。

2) ITNet 研究委員会（略）

3) 経営労務委員会（略）

4、入退会者及び会員変更の承認・前回理事会以降の活動報告について（略）

5、その他

・みえ次世代育成応援ネットワークより5周年記念事業及びわくわくチャレンジタウンへの参加協力について、会員への広報活動と併せて参加を呼びかけていくこととしました。

・三重県社会福祉協議会からのNPO法人『共同受注窓口みえ』への会員加入及び理事選任のお願いについては、NPOの理事は企業における取締役にあたるため、同友会会員が組織を代表して就任することは困難な立場であることから辞退することとし、賛助会員として参画していくこととしました。

・成川事務局長より7月5日～6日の全国総会（北海道）への参加依頼がありました。

